

整理番号 00180

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） **Iron Powder**
鉄粉

販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社
	住所	〒105-0014 東京都港区芝2丁目13番4号 住友不動産芝ビル4号館
	担当	SDS 担当者
	電話番号	(03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801
製造者情報	会社	LECO Corporation
	住所	3000 Lakeview Avenue St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A
推奨用途		分析試験用
使用上の制限		推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 区分に該当しない

ラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	【安全対策】 産業衛生に気を配る 【応急処置】 取り扱った後、手を洗うこと 【保管】 換気の良い乾燥した場所で保管すること 【廃棄】 内容物及び残渣の処理は地方自治体の規制に従う。

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
化学名	: 鉄
成分及び含有量	: 95-100
CAS No.	: 7439-89-6
官報公示整理番号（化審法・安衛法）	: 対象外

鉄粉 P/N: 501-078 501-673 501-950 502-401 501-952 502-970 503-529 503-552

安衛法通知対象物質	: 対象外
PRTR 法	: 対象外
国連分類及び国連番号	: 非該当
毒物劇物取締法	: 非該当

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所へ移動する。症状が悪化したり継続する場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	水と石鹼で洗い流す。症状が持続又は悪化した時は医師に連絡すること。
眼に入った場合	目を擦らない。直ちに十分な流水で洗い流す。コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡すること。意識がない又は痙攣している場合は口から物を与えないこと。
急性症状及び遅発性症状 応急措置及び特別注意事項 医師に対する特別な注意事項	眼に直接入った場合は、一時的な炎症が起こる場合がある。暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診察を受ける。症状にあった治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素。周辺物質の火災に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	火災を拡散させるのでウォータージェットを使用しない。
特有の危険有害性	火災により有害なガスを発生する恐れがある。
消火を行う者の保護	火災時には自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動させる。
特定の消火方法	通常の消火手順。影響を受けた他物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法	粉塵の吸引を避ける。個人保護具については8項を参照。 排水、水路及び地面への排出を防ぐ。 空気中の粉塵の散布を避ける。HEPA フィルタを備えた掃除機を使用して粉塵を集める。
--	---

7. 取扱い及び保管上の注意

技術的対策	特別な推奨は無い。
安全取扱注意事項	産業衛生に気を配る。
接触回避	強酸化剤。詳細は10項を参照。
衛生対策	取扱い後、飲食や喫煙をする映えに手を洗うなど適切な措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に保護衣と保

安全な保管条件

護具を洗浄する。
混触危険物から離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度（ばく露限界値）

設定されていない。

保護具

眼/顔の保護

サイドシールド付きメガネ（又はゴーグル）を着用する。

皮膚の保護

手

適した対化学薬品手部句を着用する。

その他

適切な保護衣を着用する。

呼吸器の保護

換気が不十分な場合、防塵マスク等適切な呼吸器保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状	粉末
色	灰色
臭い	なし
融点・凝固点	1538 °C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	2861 °C
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可
pH	入手不可
動粘性率	入手不可
溶解度	不溶性
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	7.87 g/cm ³
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

10. 安定性及び反応性

反応性

この製品は通常の使用、保管及び運搬方法において、安定で反応性はない。

化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	通常の使用下での危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物との接触
混触危険物質	強酸
有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性	入手不可
皮膚腐食性・刺激性	長期間の接触は一時的な炎症を起こすおそれ。
重篤な眼の損傷・眼刺激	ダストが目に入ると炎症を起こすことがある。
呼吸器又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	入手不可
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	入手不可
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	入手不可
誤えん有害性	入手不可

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
鉄（CAS 7439-89-6） 水生	

成分	種	結果
魚類 LC50	ブチナマズ (<i>Ictalurus punctatus</i>)	> 500 mg/l, 96 時間

残留性/分解性	この製品の分解性に関するデータなし
生体内蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成、内分泌かく乱、地球温暖化など）は考えられていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	空の容器または内張には残渣が残っているおそれがある。安全な方法で廃棄されなければならない。
汚染容器及び包装	承認された廃棄物処理施設に運ぶ。
地域の廃棄規制	適用されるすべての放棄に準拠して廃棄すること。

14. 輸送上の注意

DOT（米国運輸省）	危険品としての規制なし
IATA（国際航空運輸協会）	危険品としての規制なし
IMDG（国際海上危険物規定）	危険品としての規制なし

15. 適用法令

なし

16. その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS（230926）	: LECO Corporation
	JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法	
	JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法・ラベル、 作業場内の表示および安全データシート	
	化学便覧	: 丸善
	職場の安全サイト	: 厚生労働省
	NITE 化学物質総合情報提供システム	: 独) 製品評価技術基盤機構

作成 令和6年3月12日

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。